

はじめに

平素より地域の感染症対策に御協力いただきありがとうございます。
医療機関向け情報には **医** を、一般施設向け情報には **全** をつけています。
原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。
全数報告：第28週～29週(7/7～7/20) 定点報告：第25～29週(6/16～7/20)

全数報告疾患情報

医

——市川保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています

※定点報告疾患については、第28週～第29週のグラフを別添しております

2類感染症	28～29週	累計（年）
結核	4	65

4類感染症	28～29週	累計（年）
E型肝炎	1	3

5類感染症	28～29週	累計（年）
百日咳	25	89
侵襲性肺炎球菌感染症	2	14
後天性免疫不全症候群（H I V 感染症を含む）	1	6

発生動向トピックス

TOPICS 1

7月28日は「世界肝炎デー」です！

医 全

世界保健機構（WHO）は2010年に、世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を「World Hepatitis Day（世界肝炎デー）」と定め、肝炎に関する啓発活動などの実施を提唱しました。

日本でもこれに呼応し、7月28日を「日本肝炎デー」、7月28日を含む1週間を「肝臓週間」として、国や地方自治体、医療団体などが協力して、肝炎の正しい知識や検査の重要性を広める活動を行っています。国や地方公共団体、医療機関や事業主団体などが協力し、肝炎の病態や知識、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及・啓発を行い、肝炎ウイルス検査の受検を促進しています。

——ウイルス性肝炎とは？

ウイルス性肝炎とは、肝炎ウイルス(A型、B型、C型、E型等)に感染することにより、肝臓の細胞が炎症を起こし、肝細胞が壊れていく病気です。

肝臓は、人間の体内で最大の臓器であり、消化管から取り込んだ栄養を利用しやすい形に変えたり、毒物を分解したり、体内の物質バランスを維持したりなど、生命を支えるために重要な多くの働きを担っています。

ー肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？

現在、わが国で問題になっているのがB・C型肝炎です。B型およびC型肝炎は慢性化しやすく、肝硬変や肝がんに行進するリスクが高いことから、長期的な健康被害が大きいです。肝炎ウイルスのキャリア(ウイルス保持者)はB型が少なくとも約110万人、C型は約90万人いると推定され、また、肝炎を発症している患者さんはB型が約19万人、C型は約30万人と推定されています。

肝がんの原因の約80%は肝炎ウイルスと言われています。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、もしもウイルスに感染していても、自覚症状がないまま病気が進行する恐れがあります。ウイルスに感染しているかどうかは検査を受けないと分かりません。

肝炎ウイルスの検査は採血のみです。もし、肝炎ウイルスに感染していても、早期に適切な治療を行うことで、肝炎を治癒、あるいは肝硬変や肝がんへの悪化を予防することは可能です。

	B型肝炎	C型肝炎
原因ウイルス	B型肝炎ウイルス(HBV)	C型肝炎ウイルス(HCV)
主な感染経路	血液感染、母子感染、性的接触による感染	血液感染
病気の経過	■ 急な発症で、微熱、食欲不振、全身倦怠感、悪心、黄疸が現れることも ■ 成人は通常1か月程度で回復するが、免疫が低下している場合や乳幼児ではウイルスが体内に残り続けることがある（キャリア化）	■ 初期の感染は無症状で、感染に気付かないことが多い ■ 慢性化することが非常に多く、約70~85%の人が慢性肝炎に行進。 ■ 慢性化すると、長期にわたり肝臓に炎症が続き、肝硬変や肝がんに行進するリスクがある。
治療薬（抗ウイルス療法）	抗ウイルス薬 ■ インターフェロン 免疫系を活性化してウイルスを排除するのを助ける ■ 拡散アナログ ウイルスの増殖を抑え、肝臓の損傷を防ぐ。	■ 直接作用型抗ウイルス薬(DAA) ウイルスの特定のタンパク質を直接阻害することで、ウイルスの増殖を防ぐ
ワクチン	あり ■ 生後1歳までの定期接種 ■ キャリアである母から生まれた児 ■ 医療従事者等の希望者への接種	なし

ー肝炎ウイルス検査を受けられる場所について

肝炎ウイルス検査は①保健所、②市における肝炎ウイルス検診、③県が委託した医療機関（病院及び診療所）で受けることができます。

市川保健所

- 完全予約制です
- 予約は、予約開始日の午前9時からお電話にて受付いたします
- 症状のある方、治療中の方、経過観察中の方は受け付けておりません
- 詳細は[市川保健所ホームページ](#)をご覧ください

市町村

- 市に住民登録のある40歳以上の方
- 肝炎ウイルス検診を過去に1度も受けたことのない方
- 職場などで受診する機会のない方

詳細はお住まいの市町村担当課へお問い合わせください。

→[市川市ホームページ](#)

→[浦安市ホームページ](#)

県が委託した 医療機関

下記3点すべてに該当する方

- 県内の市町村にお住まいの方（千葉市、船橋市、柏市を除く）
- 市町村が行う健康増進法に基づく健康増進事業や職場での健康診断等において肝炎ウイルス検査の受診の機会がない方
- 過去にB型またはC型肝炎ウイルス検診を受けていない方

※年齢制限はありません

詳細は[千葉県ホームページ](#)を御覧ください。

—検査で陽性だった場合は…？

感染していた場合は早期に適切な治療を受けることで肝炎の治癒あるいは肝硬変や肝がんへの悪化を予防することが可能です。

千葉県では、県や市町村、職域、手術前などで実施される肝炎ウイルス検査受検後のウイルス性肝炎陽性者を早期治療に繋げ、重症化予防を図るために、陽性者の初回精密検査・定期検査の費用を助成しています（[千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業](#)）。また、B型肝炎及びC型肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療および拡散アナログ製剤治療）への公費負担による助成制度を実施しています（[千葉県肝炎治療特別促進事業](#)）。

—感染を予防するためには

日常生活において肝炎ウイルスに感染する可能性のある行為は「血液や体液が体内に入る可能性の高い行為」です。特に保育の場においては、ひっかき傷やかみ傷、すり傷、鼻からの出血が日常的に見られ、子どもが自分で体液や血液等を適切に処理することは困難です。そのため、職員の皆さんは感染症対策として、血液及び体液や排泄物の取り扱いには十分に注意し、使い捨て手袋を使用して処理しましょう。

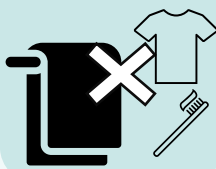
こまめな
手洗い



こまめな
消毒



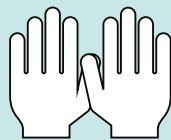
共有しない



適切な排泄物・
分泌物・血液
の処理



使い捨て手袋
の使用



※やむを得ず素手で扱った場合は、すぐに流水と石鹸で十分に手を洗いましょう。

【参考】厚労省「ウイルス性肝炎について」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/04.html>

【参考】厚労省「知って、肝炎プロジェクト」
<https://www.kanen.org/>

【参考】JIHS肝炎情報センター「B型肝炎」
https://www.kanen.jihs.go.jp/cont/010/b_gata.html

【参考】JIHS肝炎情報センター「C型肝炎」
https://www.kanen.jihs.go.jp/cont/010/c_gata.html

【参考】JIHS肝炎情報センター「日常生活の場での注意点」
<https://kanen.jihs.go.jp/category/nichizyou.html>

【参考】JIHS肝炎情報センター「保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン」
<https://kanen.jihs.go.jp/user/hoiku.html>

【参考】子ども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」
<https://kodomoenkyokai.or.jp/wp-content/uploads/2023/05/60342170aa360b5cce6f4ffe341a8a6c.pdf>

2025年第28週に管内医療機関より1件の届出があり、市川保健所における届出累計は3件となりました（図1）。男性の届出数が多い傾向です。

E型肝炎は、E型肝炎ウイルス（HEV）によって引き起こされる急性肝炎です。感染すると、15～60日間の潜伏期間の後に、全身のだるさ、食欲不振、吐き気、黄疸などの症状が出るがありますが、症状が現れないことも多いです。

B型肝炎やC型肝炎と異なり、感染は主にウイルスに汚染された食べ物や水を摂取すること（経口感染）で広がります。国内においては、加熱が不十分な豚やイノシシの内臓肉の生食が感染原因となることがあります。予防策としては、**手洗いの徹底や食べ物（主に肉類）を十分に加熱することが重要です。**



図1) 市川保健所におけるE型肝炎届出数の推移, 2016年～2025年第28週

【参考】JIHS「E型肝炎」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/a/hepatitis/040/hepatitis-e-intro.html>

市川保健所管内における百日咳の発生届け出数は72件となり、全数把握対象疾患に変更となった2018年以降の最多を更新しています（図1）。

引き続き高水準で届出数が推移していることから、動向に注意が必要です。

百日咳は、百日咳菌によって引き起こされる呼吸器の感染症です。特に乳児は重症化するリスクが高いため、注意が必要です。

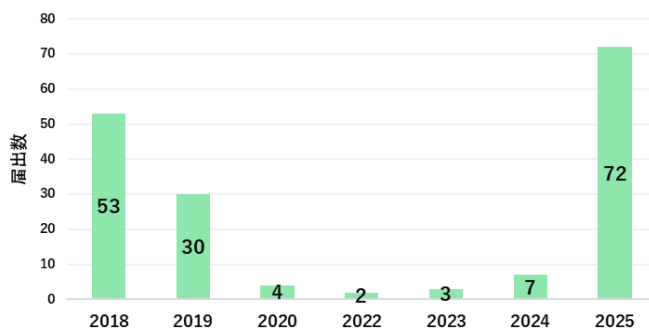


図1) 市川保健所における百日咳届出数推移, 2018年～2025年第28週

症状 痙攣性の咳発作

感染経路 飛沫感染 接触感染

出席停止期間 特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗生物質製剤による治療が終了するまで（学校保健安全法より）

感染対策

■ 予防接種（定期接種）

令和6年4月1日より、4種混合ワクチン（ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ）とヒブワクチンが1つになった「5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）」が開始されました。対象年齢は、生後2か月から7歳6か月未満で、計4回の接種を受けるものです。

初回接種 生後2か月以上7か月未満に対して、3～8週間の間隔をおいて3回接種

追加接種 3回目の接種後6か月～18か月の間隔を置いて1回接種

■ 咳エチケット ■ 手洗い

届出基準は
[コチラ](#)

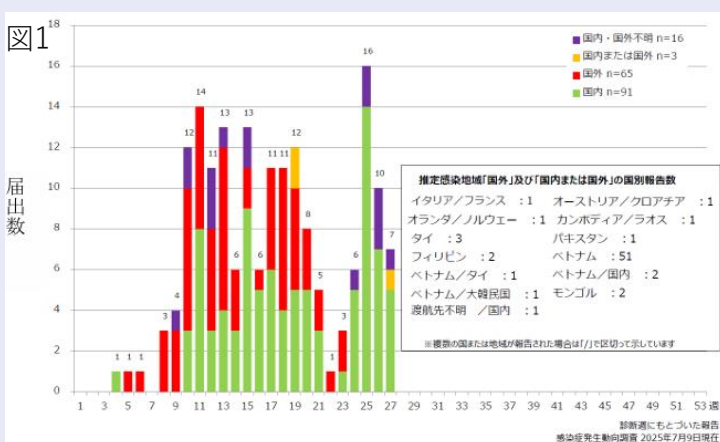


【参考】厚労省「百日咳」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html

千葉県では、2025年第29週に1例の届出があり、2025年の累計は17例となりました。全国では、2025年第28週に東京都で5例、埼玉県で3例、千葉県及び大阪府で各1例の計10例の届出があり、2025年の累計は184例となりました。

2025年第27週までに全国で届出のあった175例の推定感染地域は図1のとおりとなっています。



県内及び近隣都県において届出が続いており、また、海外における流行が報告されていることや、海外渡航者の増加する夏休みを迎えることから、引き続き発生動向に注意が必要です。なお、海外での流行が報告されていることから、特に海外への渡航前には予防接種歴を確認いただき、また、帰国後2週間程度は高熱や全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状に注意し、受診の際はあらかじめ医療機関に連絡をしましょう。

【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202529measles.pdf>

【参考】JIHS「感染症発生動向調査(IDWR)2025年第27週」

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant/vaccine/measles/060/meas25-27.pdf>

インフルエンザ感染症

—— 定点医療機関における感染者数の報告は増加傾向です

市川保健所管内インフルエンザ発生状況（人）

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	1	0	0	0	0

※型非鑑別キット

（医療機関からの型報告なく不明な 1 例を除く）

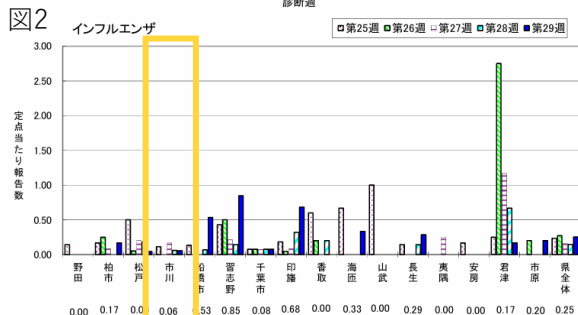
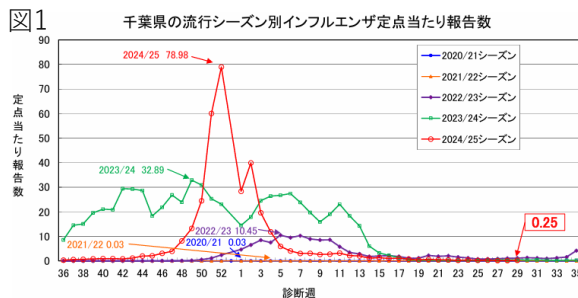
2025年第28週から第29週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめた表です

第29週の千葉県全体の定点当たり報告数は、0.25(人)でした(図1)。市川管内の報告数は、0.06(人)でした(図2)。

第29週に千葉県内で報告のあった例のうち、A型31例(88.6%)、B型3例(8.6%)であり、A型が多い状況です。

感染
対策

- ①手洗い・手指衛生
- ②マスクの着用・咳エチケット
- ③室内の換気
- ④室内の湿度の保持
- ⑤人込みを避ける
- ⑥ワクチン接種



【参考】千葉県感染症情報センター

<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202529influenza.pdf>

【参考】厚生労働省：インフルエンザQ&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/QA2024.html

—— 定点医療機関による感染者数の報告は増加傾向です

第29週の千葉県全体の定点当たり報告数は、4.87(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、香取(12.00)、市原(10.00)、印旛(8.36)保健所管内でした。

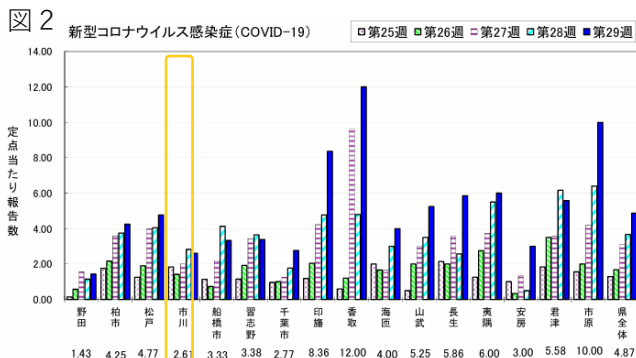
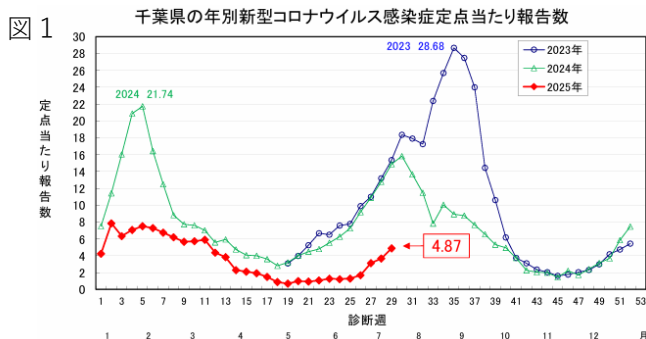
市川保健所管内の報告数は、前週から減少し、2.61(人)となっています(図2)。

【参考】千葉県感染症情報センター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202529covid19.pdf>

【参考】千葉県:新型コロナウイルス感染症について
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/kansenshou/ncov/covid19-chiba-index.html>

感染
対策

インフルエンザを予防する方法と同様です



お知らせ

- ・【医療機関の皆様へ】1~4類感染症及び5類感染症の一部(麻しん・風しん・侵襲性髄膜炎菌感染症)の発生届を御提出いただく際は、発生届の御提出と併せて保健所までお電話をお願いいたします。
 ※閉庁日にお電話いただいた場合、「千葉県保健所夜間休日受付センター」の連絡先のアナウンスが流れますので、当該センターに御連絡をお願いいたします。
- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまで御連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることを御了承ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任において御利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

配信元

千葉県市川健康福祉センター
 (市川保健所)
 いちうら感染症情報
ichiurainf@pref.chiba.lg.jp